



国立レンヌ第一大学 経営大学院
日仏経営センター
Centre Franco-Japonais de Management



国立レンヌ第一大学大学院 日仏経営センター
CENTRE FRANCO-JAPONAIS DE MANAGEMENT

国立レンヌ第一大学 経営大学院 日仏経営センター

Centre Franco-Japonais de Management

CFJMはレンヌ第1大学経営大学院コースのうちの1コースの名前です。1992年に創設された、日系企業経営管理に特化したフランス唯一の大学院のコースです。

責任者



CFJM センター長 マーケティングHDR
教授

Karine Picot-Coupey

創立者



CFJM アソシエーション会長

ブルターニュ インターナショナル 総務部

Vincent Chamaret

「毎年新しい学生がきますが、本当に様々な専門を持った学生を迎えるのは楽しみです。例えば、4年間の大学時代に、日本語、日本の政治経済、文学を勉強した人 (LEA や LLCE)、専門としてマーケティング、法律の勉強をした人、エンジニア、都市計画を勉強してきた人、さらにはデザインを勉強した人などを2年間受け入れ、個人的に彼らの人生を左右する就活局面に関わることはこの上ない喜びです。レンヌ校にいる1年間は、マネジメントの諸々の領域、国際マネジメント、日本企業のマネジメント、さらには日本語を学ぶことを通じて彼らは各々の専門性を深めていきます。日本では就職活動ないしインターンシップを積みます。日本滞在は提携大学や語学学校で学ぶ半年で始まり、次の半年はインターンシップが必修です。それ以降、日系ないし外資系企業での就労体験を皮切りに、彼らは自分の人生を築いていきます。当校のCFJM同窓会は日本滞在中、新人留学生を物心両面でサポートします。この実りある2年後には、IAEネットワークに準拠する正式なフランスの国家免状、日本企業経営管理学MAE修士号が授与されます。このフランスで他に例のない教育課程を修了することで、学生たちは独自のキャリアを積めることを確信しています。」

「創設25年を超えました。様々な企業の援助のおかげで、日本でインターンシップをする学生を支援してきました。考えてみればこのセンターは時代とともに度重なる危機を乗り越えてきました。例えば、フランスの大学改革にともなう公的資金援助の枯渇、日本でのバブル経済の破綻、その後の日本経済の減速、2011年3月の東日本大震災のときの津波と福島原発の事故などです。毎年学生を日本に送り出してきましたが、私たちの教育に対する「専門の異なる学生を送り出すこと。日本語初級者も受け入れること。」という基本信念を貫いてきました。数々の卒業生の人生を目の当たりにするにつけ、本校を通じて日本に行ったことが、どれだけ彼らの人生を変えたかという深い感慨にひたります。」

連絡先

karine.picot@univ-rennes1.fr
CFJM - Centre Franco-Japonais de Management
11, rue Jean Macé - CS 7083
35708 RENNES CEDEX 7

FRANCE

CFJM
centre franco-japonais de management
Alumni - Dōsōsei - 同窓生



アレクサンドル・デュボス

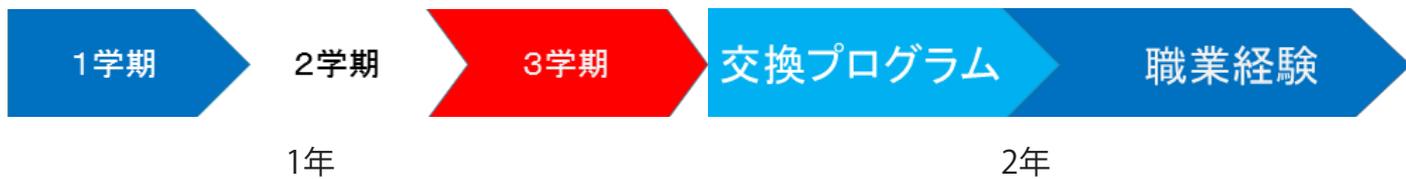
卒業生のことば

CFJM同窓会会長、東京国際学園およびLFI 東京 広報部長

「CFJMの学習プログラムは学期ごとに深化するのでとても良いと思います。第1段階は理論的、一般的なことから始まり、第2段階で国際マネジメントを学び、第3段階では日本での「ビジネス」実践例を学びます。この段階を追った学習プログラムは私にとって日本とアジアへの本当の橋渡しでした。また、2年間に渡る日本語の日々の集中したトレーニングは、私の人生にとってよい糧になりました。」

1. 特色ー学習プログラム

この日本企業経営管理修士課程の修学期間は2年間、1年次はフランス・レンヌ校で、2年次は日本で継続履修します。



1. フランス・レンヌ校での1年次

以下の3つの観点の主軸としてIGR-IAE レンヌ校で勉学を開始します。

①一般経営管理学の基礎と、国際的なビジネスを段階を追って教授し、学期ごとに区切りながら全体を深化させる独自プログラム

1学期：一般共通科目

2学期：国際ビジネス、貿易事務、異文化間マネジメント

3学期：日本企業に特化した集中講座、会計学、経理学、マーケティング、法学、経済学的・戦略的な知識人事労務管理

②日本文化や社会の俯瞰的な知識の教授

歴史、法律、経済、実践的なビジネス慣行、対人コンフリクトのマネジメント

③日仏英語、さらに日本語のプラグマチックな運用能力の習得

英仏語での数多くの授業に加え、日本語初級者ないし中上級者に対してマンツーマンで日本語運用能力を授けま

2. 日本での2年次

この1年間は、日本だけの履修で、さらに2つのステップに分けられます。

①最初の半年間は、日本の語学学校ないしは大学に在籍以下の提携大学や大学院での交換プログラムを通じてインターンシップへの準備を固めます。

提携大学および提携語学学校

国立大学：茨城大学、神戸大学、東京工業大学、東北大学

私立大学：明治大学、創価大学、東洋大学、早稲田大学

語学学校：新宿日本語学校

この提携大学との交換プログラムは学生にとってさまざまな良い機会となります。

- ① 各提携大学の国際センターで日本語学習を継続できます。
- ② 歴史、文化、経済・経営についての授業も英語で履修可能です。
- ③ 日本語上級者は希望すれば日本人学生とともに日本語での授業も聴講可能です。

②後半の半年間は、職業経験が必修

(インターンシップないしは正式採用)

日本企業ないし外資系の企業において4~6ヶ月の職務経験をつみます。CFJMレンヌ校と、広範囲なネットワークをもつ日本CFJM同窓会が連携して、就活する学生を積極的に支援します。



必要に応じてインターンシップ契約やビザ交換などについてはレンヌCFJM校とCFJM同窓会がさまざまな指導を行ったり、ガイダンス資料を提供します。

CFJM同窓会は日本在住の当校の卒業生がつくる広いネットワークです。

主な活動は、毎年来日するレンヌCFJM校の学生のオリエンテーションないし、年間を通じて情報収集ないしインターンシップ先開拓です。また、日本企業勤務の担当者をアニメーターとして迎え、実践就活セミナーやワークショップを企画しています。日本に到着した学生の歓迎会、忘年会、花見会などのイベントを通じて、さまざまな出会いを演出し、学生のネットワーク構築を助けています。就業につきまとうビザ書き換えなどの法的手続きへのガイダンスも行います。

2.他に類を見ないトレーニング

1.実践的な人材養成への取り組み

- ①CFJMの講義の80%は日本あるいはヨーロッパの現役の実業家による講義です。
- ②CFJMの学生は、日本の参考文献や日本語の文献を揃えたコンピューター完備の図書室を利用することができます。
- ③国際ビジネスに不可欠なTOFEL iBTの資格試験を、レンヌ校在学中に学内で無料受験できる財政支援があります。
- ④以下の工学系エンジニア養成グランゼコールからの学生は、ダブルディグリー（複数の卒業資格）を得ることが可能です。 AgrocampusOuet, Centrale Supélec, ECAM Rennes, ENSSAT, ENSCR, ESIR, INSA Rennes.



2.様々なイベントの企画

CFJM学生会ないしレンヌ経営大学院は、定期的に一般市民向け公開講演会を開催しています。

例：「知的財産法のセミナー」、「福島原発事件後の日本」についての講演、「日本企業内における異文化間コンフリクト」についてのアトリエ など

3.卒業後の主な就職先

卒業生は各々のバックグラウンドによって日系、外資系企業に就職します。

主な就職先として、

ヨーロッパ Akato SARL, Areva, ATSU ATSU, Decathlon, Atsu Atsu, Diesel, フジサンケイコミュニケーションズインターナショナル、日産自動車、IPSEN、Maison de la Culture du Japon à Paris、Michelin、MyLittleParis、ルノーSAなど
日本 アリアンフランセーズ仙台、Air liquid、ASICS、BNP Paribas、キヤノン、CCIFJ、Institute Français de Tokyo、エイシンフーズ、電力開発、Fitch ratings、富士フイルム ホールディング社、Lycée Français de Tokyo、ミシュラン、Murex Asia KK、ロクシタン、リッチモンド ジャパン社、Saint Gobain Japon、Sanofi、Société Générale、新宿日本語学校、ユニリーバ、Under Armour Japan、Valeo Japan、ヴァンクリフ & アルペル など

また具体的なポストの例として、企業発展の管理職、輸出業企画コーディネーター、プロジェクト・マネージャー、買い付けマネージャー、生産管理マネージャー、経済学を熟知したエンジニア などがあります。

3.現役の講師陣による質の高い授業

講師陣として、活躍中の国際ビジネス関連の第一人者を招致しています。現役の教授陣、研究者、弁護士、名誉教授、自動車製造業・食品産業、高級ブランドメーカーの人事担当ないしマーケティングの方々です。

例：EHESS、CNRS、Science-po Paris、東京弁護士会、神戸大学、創価大学、東北大学など



Paul PERRINIAUX Managing and Representative Director at Michelin Japan / 1994年卒業

Flora MITSUSHIMA

Japan Project Manager, My Little Paris / 2017年卒業



François GROSJEAN

Sales Manager at Fuji Creative Corporation, TOKYO / 2010年卒業